



2027年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月9日

上場会社名 Sansan株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4443 URL <https://jp.corp-sansan.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役/CEO (氏名) 寺田 親弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員/CFO(氏名) 橋本 宗之 TEL 03 (6758) 0033
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年5月期第1四半期の連結業績 (2026年6月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益 (注)		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年5月期第1四半期	14,753	20.1	2,475	328.3	2,321	339.8	2,365	347.7	1,545	418.4
2026年5月期第1四半期	12,283	28.2	578	178.8	527	—	528	—	298	—

(注) 包括利益 2027年5月期第1四半期 1,589百万円(366.0%) 2026年5月期第1四半期 341百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年5月期第1四半期	12.32	12.23
2026年5月期第1四半期	2.36	2.33

(注) 調整後営業利益:営業利益+株式報酬関連費用+企業結合に伴い生じた費用(のれん償却額及び無形固定資産の償却費)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年5月期第1四半期	52,527	21,123	38.1
2026年5月期	54,958	21,094	36.4

(参考) 自己資本 2027年5月期第1四半期 20,006百万円 2026年5月期 20,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年5月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2027年5月期	—	—	—	—	—
2027年5月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年5月期の連結業績予想 (2026年6月1日～2027年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,706	18.5	12,741	51.2	12,514	52.9	12,593	54.1	8,376	23.6	66.41
	65,319	21.5	14,696	74.4	14,464	76.7	14,545	78.0	10,221	50.8	81.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年5月期1Q	126,906,104株	2026年5月期	126,800,600株
2027年5月期1Q	1,474,346株	2026年5月期	662,658株
2027年5月期1Q	125,433,152株	2026年5月期1Q	126,390,765株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(四半期連結損益計算書)	9
(四半期連結包括利益計算書)	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等の注記)	12
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	14
(収益認識関係)	14
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「出会いからイノベーションを生み出す」というミッションの下、「ビジネスインフラになる」というビジョンを掲げています。この実現に向け、当社グループは、働き方を変えるAX（AIトランスフォーメーション）サービスを提供しています。当社グループが提供するAXサービスは、クラウドソフトウェアにテクノロジーと人材オペレーションを組み合わせ、名刺、請求書、契約書といった企業活動の中で発生する非定型かつアナログな情報を高精度にデータ化します。これにより、業務プロセスの効率化や高度なデータ活用を可能にします。

企業が生成AIを活用して大きな価値を創出するためには、企業固有の活動に紐付く構造化・正規化されたデータが重要となります。当社グループでは、AI活用を前提とした業務プロセスやデータのあり方そのものの進化を目指し、事業領域をAXとして定義しています。単なる生産性の向上に留まらず、AI活用を継続的に支えるデータインフラとして、新たな価値を提供していきます。

【市場環境】

- ・AIを活用したグローバルでの業務改革市場の規模は、2025年の約0.4兆ドルから2030年には約1.7兆ドルに拡大すると予測されています（注1）。
- ・国内AI市場の規模は、2025年の約2.3兆円から2029年には約6.8兆円に拡大すると予測されています（注2）。
- ・営業AXサービス「Sansan」は、法人向け名刺管理サービス市場において85.8%のシェア（注3）を有しており、同市場は2013年から2024年の間で約21倍に拡大しています。
- ・経理AXサービス「Bill One」は、クラウド請求書受領サービス市場において売上高シェアNo.1（注4）を獲得しており、同市場の規模は、2024年度に前年同期比52.4%増と拡大しています。

- （注）1. 「Artificial Intelligence (AI) In Digital Transformation Global Market Report 2026」（The Business Research Company）より試算
 2. 国内AI市場支出額予測（IDC Japan調査）
 3. 「営業支援DXにおける名刺管理サービスの最新動向2026」（2026年1月 シード・プランニング調査）
 4. デロイト トーマツ ミック経済研究所「AI活用により新たな局面に突入するクラウド請求書受領サービス市場」（ミックITリポート2025年12月号）

【当第1四半期連結累計期間（2026年6月1日～2026年8月31日） | 連結業績】

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	12,283	14,753	+ 20.1%
売上総利益	10,792	12,926	+ 19.8%
売上総利益率	87.9%	87.6%	△0.3pt
調整後営業利益	578	2,475	+ 328.3%
調整後営業利益率	4.7%	16.8%	+ 12.1pt
経常利益	528	2,365	+ 347.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	298	1,545	+ 418.4%

- ・売上高は、Sansan／Bill One事業の堅調な成長に加え、Eight事業が好調に推移したことにより、前年同期比20.1%増の14,753百万円となりました。
- ・売上総利益は、前年同期比19.8%増の12,926百万円となりました。
- ・売上総利益率は、前年同期比0.3ポイント低下の87.6%となりました。
- ・調整後営業利益は、主に広告宣伝費率及び人件費率の低下により、前年同期比328.3%増の2,475百万円となりました。
- ・調整後営業利益率は、前年同期比12.1ポイント上昇の16.8%となりました。
- ・経常利益は、前年同期比347.7%増の2,365百万円となりました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比418.4%増の1,545百万円となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

① Sansan／Bill One事業

当事業セグメントは、営業AXサービス「Sansan」、経理AXサービス「Bill One」、契約AXサービス「Contract One」等のサービスで構成されています。

【当第1四半期連結累計期間（2026年6月1日～2026年8月31日） | Sansan／Bill One事業】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高（注5）	10,935	12,953	+ 18.4%
「Sansan」	7,494	8,231	+ 9.8%
「Sansan」ストック	6,954	7,797	+ 12.1%
「Sansan」その他（注6）	539	433	△ 19.8%
「Bill One」	3,025	4,067	+ 34.4%
その他	415	654	+ 57.6%
調整後営業利益	673	2,734	+ 306.3%
「Sansan」			
契約件数	11,069件	12,580件	+ 13.7%
契約当たり月次ストック売上高	211千円	208千円	△ 1.4%
直近12か月平均月次解約率（注7）	0.52%	0.54%	+ 0.02pt
「Bill One」			
MRR（注8）	985	1,311	+ 33.0%
有料契約件数	4,252件	5,468件	+ 28.6%
有料契約当たり月次ストック売上高	231千円	239千円	+ 3.5%
直近12か月平均月次解約率（注7）	0.33%	0.33%	—

（注） 5. 外部顧客への売上高及びセグメント間の内部売上高または振替高の合計値

6. 初期費用等、ストック以外で発生する一時的な売上高

7. サービスの既存契約のMRRに占める、解約に伴い減少したMRRの割合

8. Monthly Recurring Revenue（月次固定収入）

・Sansan／Bill One事業の売上高は、「Sansan」の安定した成長に加え、「Bill One」が好調に推移したことにより、前年同期比18.4%増の12,953百万円となりました。

・Sansan／Bill One事業の調整後営業利益は、主に広告宣伝費率及び人件費率の低下により、前年同期比306.3%増の2,734百万円となりました。

a. 「Sansan」

「Sansan」は、名刺やオンラインの接点、商談履歴といったビジネスデータを一元管理して全社で共有し、AIの力でさらに活用できるようにすることで、売上拡大とコスト削減を同時に実現する、営業AXサービスです。

・「Sansan」売上高は、前年同期比9.8%増の8,231百万円となりました。

・「Sansan」売上高のうち、固定収入であるストック売上高は、前年同期比12.1%増の7,797百万円となりました。

・「Sansan」売上高のうち、その他売上高は、前年同期比19.8%減の433百万円となりました。

・「Sansan」契約件数は、中小規模の新規契約の獲得が着実に進み、前年同期比13.7%増の12,580件となりました。

・「Sansan」契約当たり月次ストック売上高は、中小規模の新規契約の増加により、前年同期比1.4%減の208千円となりました。

・「Sansan」直近12か月平均月次解約率は、前年同期比0.02ポイント上昇の0.54%となり、1%未満の低水準を維持しました。

b. 「Bill One」

「Bill One」は、請求書や領収書といった証憑書類に関わる業務プロセスに、AIとテクノロジーの力で「なくせる」をつくることで全社の働き方を変える、経理AXサービスです。

- ・「Bill One」売上高は、前年同期比34.4%増の4,067百万円となりました。
- ・「Bill One」MRRは、前年同期比33.0%増の1,311百万円となりました。
- ・「Bill One」有料契約件数は、営業体制の強化により、前年同期比28.6%増の5,468件となりました。
- ・「Bill One」有料契約当たり月次ストック売上高は、前年同期比3.5%増の239千円となりました。
- ・「Bill One」直近12か月平均月次解約率は0.33%と、前年同期と同水準を維持しました。

c. その他

その他には、契約AXサービス「Contract One」やグループ会社のナインアウト株式会社の業績が計上されています。

「Contract One」は、あらゆる契約書の一元管理と人とAIが使いやすい契約データベース構築を実現し、契約条件の適切なコントロールで企業の利益を守る、契約AXサービスです。

ナインアウト株式会社は、主に顧客との接点を営業機会に変えるAIインターフェース「Ask One」を提供しています。

- ・その他売上高は、「Contract One」の高成長等により、前年同期比57.6%増の654百万円となりました。

② Eight事業

当事業セグメントは、主に名刺アプリ「Eight」で構成されています。

【当第1四半期連結累計期間（2026年6月1日～2026年8月31日） | Eight事業】

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	（単位：百万円） 前年同期比
売上高（注9）	1,296	1,719	+ 32.6%
BtoCサービス	107	116	+ 8.1%
BtoBサービス	1,189	1,602	+ 34.8%
調整後営業利益	△57	△166	－
「Eight」			
「Eight Team」契約件数	5,690件	6,246件	+ 9.8%

（注） 9. 外部顧客への売上高及びセグメント間の内部売上高または振替高の合計値

- ・Eight事業の売上高は、BtoCサービスの安定した成長に加え、BtoBサービスが好調に推移したことにより、前年同期比32.6%増の1,719百万円となりました。
- ・Eight事業の調整後営業損失は、下期以降のさらなる成長を見据えた人員体制の強化等により、166百万円となりました（前年同期は57百万円の調整後営業損失）。なお、通期では調整後営業利益の計上を見込んでいます。

a. BtoCサービス

BtoCサービスは、名刺アプリ「Eight」における個人向け有料機能の売上高で構成されています。「Eight」の個人向け有料機能は、名刺管理の利便性がさらに高まる複数の機能です。

- ・BtoCサービス売上高は、ユーザーの着実な獲得により、前年同期比8.1%増の116百万円となりました。

b. BtoBサービス

BtoBサービスは、「Eight Team」やビジネスイベント、採用関連サービス等の売上高で構成されています。

- ・BtoBサービス売上高は、2026年1月に連結子会社化したEightキャリア株式会社の寄与を含む採用関連サービスや、ビジネスイベントがともに好調に推移したことにより、前年同期比34.8%増の1,602百万円となりました。
- ・「Eight Team」契約件数は、前年同期比9.8%増の6,246件となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	前連結会計年度末比
資産合計	54,958	52,527	△2,430
負債合計	33,864	31,404	△2,459
純資産合計	21,094	21,123	+ 29
負債純資産合計	54,958	52,527	△2,430

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は52,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2,430百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少1,476百万円、その他(流動資産)の減少1,524百万円及び売掛金の減少186百万円、有形固定資産の増加526百万円、前払費用の増加140百万円及び投資有価証券の増加125百万円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は31,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2,459百万円減少しました。これは主に、未払法人税等の減少1,116百万円、未払金の減少760百万円、賞与引当金の減少577百万円、未払消費税等の減少543百万円及び長期借入金の減少126百万円、顧客企業から契約期間分の料金を一括で受領すること等による前受金の増加753百万円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は21,123百万円となり、前連結会計年度末に比べ、29百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加1,230百万円、自己株式の増加1,258百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

- ・当第1四半期連結累計期間の実績は、2026年7月13日に公表した2027年5月期の連結業績予想に沿って順調に推移しており、予想内容に変更はありません。
- ・当社グループのビジネスモデルはストック型であるため、四半期の進行に応じて売上高が積み上がり、下期にかけて利益が拡大しやすい傾向にあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年5月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,006	35,529
売掛金	1,438	1,252
前払費用	1,664	1,804
その他	4,019	2,495
貸倒引当金	△39	△39
流動資産合計	44,088	41,042
固定資産		
有形固定資産	2,419	2,945
無形固定資産		
ソフトウェア	975	1,007
のれん	866	840
無形固定資産合計	1,841	1,847
投資その他の資産		
投資有価証券	2,241	2,367
敷金	2,251	2,203
繰延税金資産	1,584	1,571
その他	531	550
投資その他の資産合計	6,608	6,692
固定資産合計	10,869	11,485
資産合計	54,958	52,527

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年5月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	360	309
1 年内償還予定の社債	40	40
1 年内返済予定の長期借入金	1,751	1,720
未払金	2,594	1,834
未払法人税等	2,003	887
未払消費税等	1,344	800
前受金	21,489	22,243
賞与引当金	1,368	790
その他	880	917
流動負債合計	31,831	29,544
固定負債		
社債	70	70
長期借入金	874	748
役員退職慰労引当金	58	58
退職給付に係る負債	62	60
繰延税金負債	2	2
その他	964	920
固定負債合計	2,032	1,860
負債合計	33,864	31,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,358	7,427
資本剰余金	3,522	3,440
利益剰余金	9,851	11,081
自己株式	△1,043	△2,302
株主資本合計	19,688	19,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	248
為替換算調整勘定	110	110
その他の包括利益累計額合計	311	358
新株予約権	1,011	1,102
非支配株主持分	82	14
純資産合計	21,094	21,123
負債純資産合計	54,958	52,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月 1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月 1日 至 2026年8月31日)
売上高	12,283	14,753
売上原価	1,490	1,826
売上総利益	10,792	12,926
販売費及び一般管理費	10,264	10,605
営業利益	527	2,321
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	62
助成金収入	0	9
投資事業組合運用益	－	3
その他	6	1
営業外収益合計	33	76
営業外費用		
支払利息	7	8
為替差損	6	2
支払手数料	0	12
投資事業組合運用損	12	－
その他	5	9
営業外費用合計	32	33
経常利益	528	2,365
特別利益		
新株予約権戻入益	29	－
固定資産売却益	1	－
株式売却契約損失引当金戻入益	15	－
特別利益合計	46	－
特別損失		
固定資産除却損	－	23
自己新株予約権消却損	69	－
特別損失合計	69	23
税金等調整前四半期純利益	505	2,341
法人税等	207	799
四半期純利益	298	1,542
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に 帰属する四半期純損失 (△)	0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	298	1,545

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月 1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月 1日 至 2026年8月31日)
四半期純利益	298	1,542
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	41	47
為替換算調整勘定	1	△0
その他の包括利益合計	42	47
四半期包括利益	341	1,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341	1,592
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計
	Sansan／Bill One事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,931	1,286	12,217	65	12,283
セグメント間の内部 売上高または振替高	3	10	14	43	58
計	10,935	1,296	12,232	109	12,341
セグメント利益または 損失(△) (注)2	673	△57	615	△37	578

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでいます。

2. セグメント利益または損失(△)は、営業利益または損失(△)に株式報酬関連費用及び企業結合に伴い生じた費用(のれん償却額及び無形固定資産の償却費)を加えた調整後営業利益または損失(△)にて表示しています。

(単位：百万円)

	Sansan／Bill One事業	Eight事業	その他	四半期連結 損益計算書 計上額
セグメント利益または損失(△)	673	△57	△37	578
株式報酬関連費用	13	5	－	19
のれん償却額及び無形固定資産の 償却費	12	10	8	31
営業利益または損失(△)	646	△72	△46	527

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計
	Sansan／Bill One事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,941	1,719	14,661	92	14,753
セグメント間の内部 売上高または振替高	11	0	11	48	60
計	12,953	1,719	14,672	140	14,813
セグメント利益または 損失(△) (注)2	2,734	△166	2,567	△92	2,475

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでいます。

2. セグメント利益または損失(△)は、営業利益または損失(△)に株式報酬関連費用及び企業結合に伴い生じた費用(のれん償却額及び無形固定資産の償却費)を加えた調整後営業利益または損失(△)にて表示しています。

(単位：百万円)

	Sansan／Bill One事業	Eight事業	その他	四半期連結 損益計算書 計上額
セグメント利益または損失(△)	2,734	△166	△92	2,475
株式報酬関連費用	103	24	0	128
のれん償却額及び無形固定資産の 償却費	20	6	－	26
営業利益または損失(△)	2,610	△196	△92	2,321

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次の通りです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	218百万円	257百万円
のれん償却額	31百万円	26百万円

(収益認識関係)

当社グループの売上高は、顧客との契約から生じる収益であり、当社グループの報告セグメントを取引形態別に分解した内訳は、以下の通りです。

(単位：百万円)		
セグメント区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
Sansan／Bill One事業		
Sansan(ストック)	6,954	7,796
Sansan(その他)	539	427
Bill One	3,024	4,067
その他	412	650
Eight事業		
BtoCサービス	107	116
BtoBサービス	1,178	1,602
その他事業	65	92
顧客との契約から生じる収益	12,283	14,753
外部顧客への売上高	12,283	14,753

(注) 「その他事業」は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでいます。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。